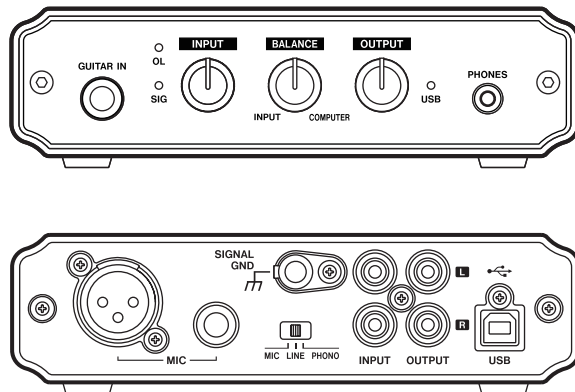


D01094001A

TASCAM
TEAC PROFESSIONAL

US-100

USB Audio Interface





取扱説明書




安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。



万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かないでください。中に入った場合は、火災・感電の原因となります。



この機器を絶対に分解しないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠注意



機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



オーディオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

この装置は、クラス B 技術情報装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しく取り扱いをして下さい。

VCCI-B

安全にお使いいただくために	2	第4章 アプリケーションガイド	14
第1章 はじめに	6	Windows XP	14
本機の概要	6	Windows Vista	16
本機の機能	6	Mac OS X	18
本製品の構成	6	オーディオアプリケーションの設定について	18
本書の表記	7	第5章 トラブルシューティング	20
商標に関して	7	第6章 仕様	22
設置上の注意	7	入出力定格	22
結露について	7	オーディオ性能	22
製品のお手入れ	7	動作条件	23
アフターサービス	8	一般	23
第2章 各部の名称と働き	9	寸法図	23
フロントパネル	9		
リアパネル	10		
第3章 接続	11		
パソコンとの接続	11		
マイクの接続	11		
ギターとの接続	12		
キーボード/ドラムマシン/ カセットデッキ/ MDやCDの接続	12		
アナログレコードプレーヤーの接続	12		
モニタースピーカーの接続	13		
ヘッドホンの接続	13		

第1章 はじめに

このたびは、TASCAM USB Audio Interface US-100をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

本機の概要

本機は、USBを使ったオーディオインターフェースですので、デスクトップ型またはノートパソコンをベースにしたデジタルレコーディングシステムの中で使うのに最適です。本機は、USB電源のみで動作しますので、ノートパソコンと組み合わせることにより、非常にコンパクトなポータブルデジタルレコーディングシステムになります。

また、レコード、カセットテープなどのアナログ音源をパソコンに取り込んで、オーディオCDに保存すると行った用途にも最適です。

本機の機能

- 2入力2出力USBオーディオインターフェース
- 44.1/48KHz、16ビット対応。
- バランスマイク入力端子 (XLRおよびTRS標準ジャック)。
- アンバランスステレオライン入力端子 (RCAピンジャック)。
- ギター入力端子 (標準ジャック)。
- アナログターンテーブルを直接接続可能。

- アンバランスステレオライン出力端子 (RCAピンジャック)。
- ヘッドホン出力端子。
- 入力モニターの遅延が発生しない、ダイレクトモニター機能。
- USB端子から電源供給が可能。
- Windows XP、Windows Vista、Mac OS Xの標準のオーディオドライバーで動作。

パソコンに関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- | | |
|---------------------|----|
| ● 本体 | x1 |
| ● USBケーブル (1.5m) | x1 |
| ● CD-ROM (Audacity) | x1 |
| ● 保証書 | x1 |
| ● 取扱説明書 (本書) | x1 |

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のつまみ／端子などを「GUITAR IN端子」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイに表示される文字を《OK》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAM は、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft, Windows, および Windows Vistaは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- Apple, Macintosh, Mac OS および Mac OS X は、Apple Inc. の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると、結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

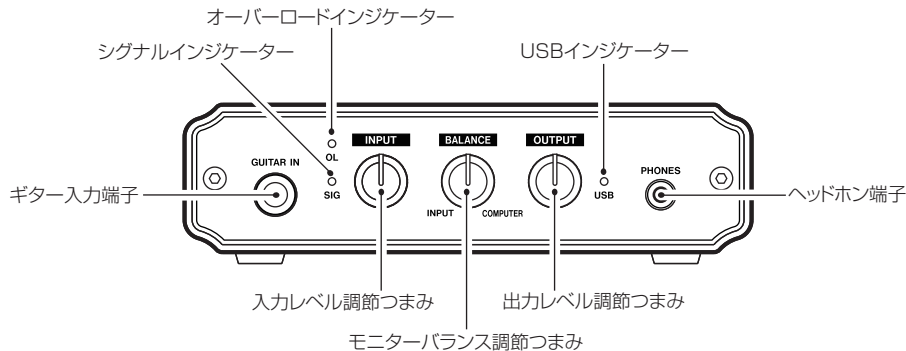
製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

第1章 はじめに

アフターサービス

- この製品には、保証書を添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
本機を使ったシステム内のハードディスク、MOディスクなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
 - 型名、型番（US-100）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

フロントパネル



● オーバーロードインジケータ (OL)

入力音が大きすぎる場合に点灯します。

● シグナルインジケータ (SIG)

入力音があるレベル以上の場合、点灯します。

● INPUTつまみ

入力レベルを調節します。右に回すと音が大きくなります。このつまみはゲイン調節つまみとなっており、左いっぱい（最小）に回しても、入力音をカットすることはできません。

● BALANCEつまみ

本機を使ってモニターする際に、入力音とパソコンの再生音のミックスバランスを調節します。左いっぱいには入力音のみを、右いっぱいにはパソコンからの音のみを出力します。

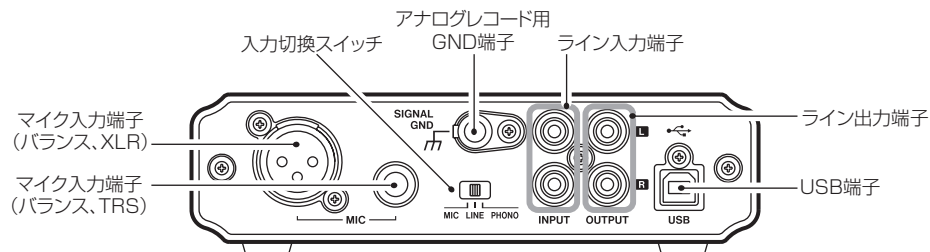
● OUTPUTつまみ

本機のヘッドホン出力 (PHONE端子) およびライン出力 (OUTPUT端子) の出力レベルを調節します。右に回すと音量が大きくなります。

● USBインジケータ

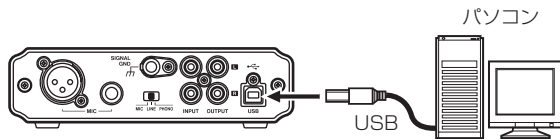
USB接続が正常に行われている場合に点灯します。

リアパネル



パソコンとの接続

付属のUSBケーブルを使って、図のように本機とパソコンを接続してください。



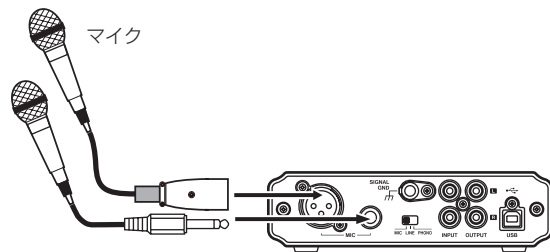
注意

USB機器の中には、USBバスを頻繁に使用するものがあります。オーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどを避けるために、本機が接続されているパソコンには、マウス、キーボード以外のUSB機器を接続しないことを強くお勧めします。

マイクの接続

マイクは、リアパネルに2つあるマイク入力端子（MIC端子）のどちらかに接続します。XLRコネクタの入力端子とTRS標準ジャックの入力端子があります。両方にマイクを接続した場合は、TRS標準ジャックに接続したマイクの入力が有効になり、XLR端子に接続したマイクの信号はカットします。

マイク入力を有効にするには、リアパネルの入力切換スイッチをMICにします。このとき、フロントパネルのギター入力端子（GUITAR IN端子）には、何も接続しないでください。



メモ

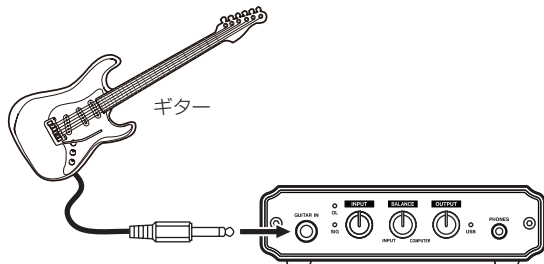
本機は、ファントム電源を持っておりません。コンデンサマイクをお使いになる場合は、外部ファントム電源を用意してください。

第3章 接続

ギターの接続

ギターやベースは、フロントパネルのギター入力端子（**GUITAR IN**端子）に接続します。

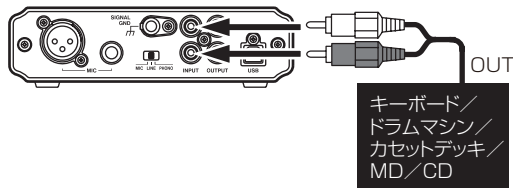
ギター入力端子（**GUITAR IN**端子、標準ジャック）に接続した場合は、入力切換スイッチの設定にかかわらず、ギター入力だけが有効になり、他の入力端子からの信号をカットします。



キーボード／ドラムマシン／ カセットデッキ／MDやCDの接続

これらのアナログ機器は、リアパネルのライン入力端子（**INPUT**端子）に接続します。

ライン入力を有効にするには、リアパネルの入力切換スイッチを**LINE**にします。このとき、フロントパネルのギター入力端子（**GUITAR IN**端子、標準ジャック）には、何も接続しないでください。

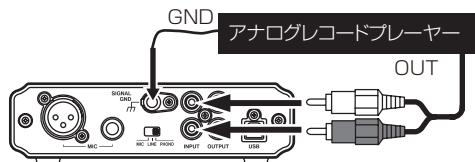


アナログレコードプレーヤーの接続

本機は、フォノアンプを内蔵しており、アナログレコードプレーヤーを直接接続することができます。アナログレコードプレーヤーのオーディオ出力をリアパネルのライン入力端子（**INPUT**端子）に接続します。また、アナログレコードプレーヤーのアース線を本機のアナログレコード用GND（グラウンド）端子（**SIGNAL GND**端子）に接続します。

アナログレコード入力を有効にするには、リアパネルの入力切換スイッチを**PHONO**にします。このとき、フロントパネルのギター入力端子

(GUITAR IN端子、標準ジャック)には、何も接続しないでください。

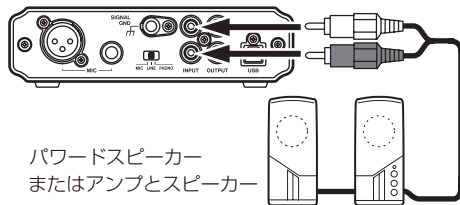


メモ

アナログレコードプレーヤーの出力信号は、通常のライン出力信号と異なります。上記以外の接続/設定では、正しい再生音を得ることができません。

モニタースピーカーの接続

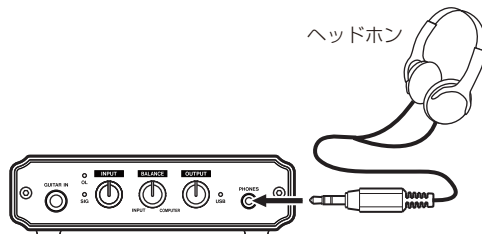
モニタースピーカー (パワードスピーカーまたはアンプとスピーカー) は、リアパネルのライン出力端子 (OUTPUT端子) に接続します。



パワードスピーカー
またはアンプとスピーカー

ヘッドホンの接続

ヘッドホンは、フロントパネルのヘッドホン端子 (PHONES端子、ステレオミニジャック) に接続します。



メモ

ヘッドホンを接続すると、ライン出力端子 (OUTPUT端子) から音は出なくなります。外部スピーカーをお使いになる場合は、ヘッドホンを接続しないでください。

第4章 アプリケーションガイド

本機は、パソコンのOS標準のオーディオドライバーを使用しますので、Windows Media Player、iTunesなど、どのオーディオアプリケーションソフトにおいても設定方法は同じです。なお、バンドルしているAudacityにつきましては、フリーソフトウェアであるため、弊社ではサポート対象外となります。

ご使用方法につきましては、CD-ROMに付属のドキュメント、Audacityのヘルプメニュー、または以下のウェブサイトをご参照いただけますようお願い致します。

<http://audacity.sourceforge.net/help/>

注意

ヘッドホンやスピーカーを本機に接続する前に、出力レベル調節つまみ（OUTPUTつまみ）で音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

メモ

- 各アプリケーションソフトを起動した状態で設定を行った場合は、アプリケーションソフト側でデバイスの切り換えが認識されません。そのような場合は、アプリケーションソフトを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。
- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホンから音は出なくなります。

Windows XP

- すべてのアプリケーションを終了し、《スタート》より《コントロールパネル》を開きます。

2. 《サウンドとオーディオデバイス》を開きます。

メモ

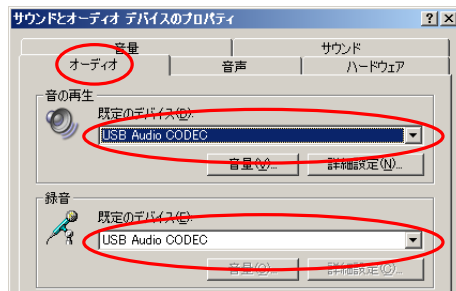
上記項目が見あたらない場合は、《サウンド、音声、およびオーディオデバイス》をクリックすると表示されます。



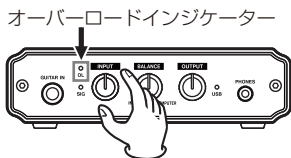
サウンドとオーディオデバイス

3. 《オーディオ》タブをクリックし、以下の設定を行います。

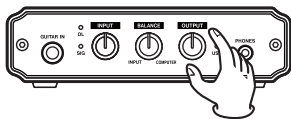
- 《音の再生》の《既定のデバイス》で、《USB Audio CODEC》を選択します。
- 《録音》の《既定のデバイス》で、《USB Audio CODEC》を選択します。



4. 入力レベルの調節は、本機のフロントパネルにある入力レベル調節つまみ（INPUTつまみ）を使って行います。オーバーロードインジケータ（OL）が点灯しないよう調節してください。

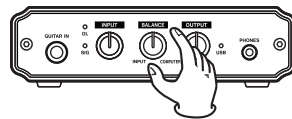


5. 出力レベルの調節は、本機のフロントパネルにある出力レベル調節つまみ（OUTPUTつまみ）、およびパソコンの《コントロールパネル》（サウンドとオーディオデバイス）の《音量》タブで行います。ライン出力端子（OUTPUT端子）およびヘッドホン端子（PHONES端子）からの出力レベルを調節します。



《デバイスの音量》でレベル《高》（最大）にします。《ミュート》には、チェックを入れないでください。画面下の《OK》をクリックして、画面を閉じます。

6. 本機への入力信号と、パソコンからの信号の音量バランスの調節は、モニターバランス調節つまみ（BALANCEつまみ）で行います。



第4章 アプリケーションガイド

Windows Vista

1. すべてのアプリケーションを終了し、《スタート》より《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックすると表示されます。



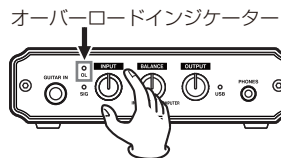
3. 《再生》タブをクリックし、《スピーカー USB Audio CODEC》をクリックし、《既定値に設定》をクリックします。このとき、緑のチェックマークが《スピーカー USB Audio CODEC》に移動します。



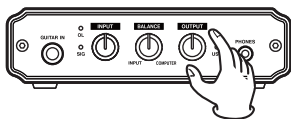
4. 《録音》タブをクリックし、《マイク USB Audio CODEC》をクリックし、《既定値に設定》をクリックします。このとき、緑のチェックマークが《マイク USB Audio CODEC》に移動します。



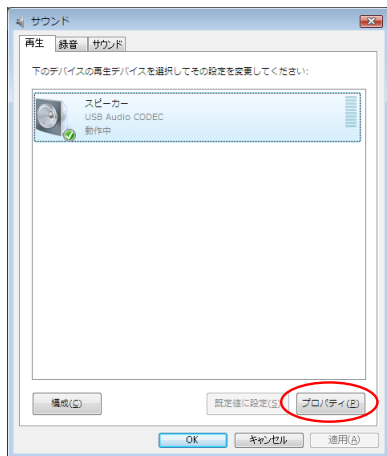
5. 入力レベルの調節は、本機のフロントパネルにある入力レベル調節つまみ（INPUTつまみ）を使って行います。オーバーロードインジケーター（OL）が点灯しないよう調節してください。



6. 出力レベルの調節は、本機のフロントパネルにある、出力レベル調節つまみ（OUTPUTつまみ）、およびパソコンの《スピーカーのプロパティ》の《レベル》タブで行います。ライン出力端子（OUTPUT端子）およびヘッドホン端子（PHONES端子）からの出力レベルを調節します。

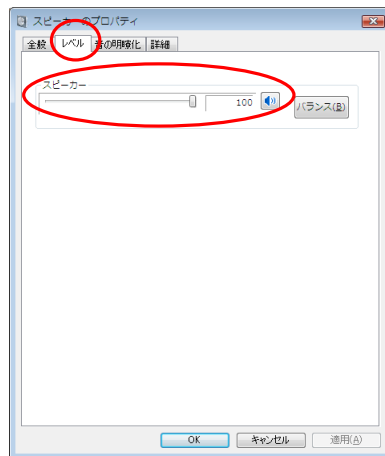


《サウンド》コントロールパネルの《再生》タブを開き、画面右下の《プロパティ》をクリックします。



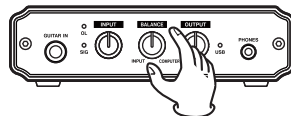
《スピーカーのプロパティ》画面が表示されます。

《レベル》タブをクリックします。



《スピーカー》でレベルを最大にします。画面下の《OK》をクリックして各画面を閉じます。

7. 本機への入力信号と、パソコンからの信号の音量バランスの調節は、モニターバランス調節つまみ（BALANCEつまみ）で行います。



第4章 アプリケーションガイド

Mac OS X

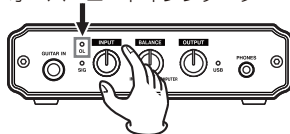
1. 《アプリケーション》フォルダの中の《ユーティリティー》フォルダの中にある《Audio MIDI設定》をダブルクリックして起動します。
2. 《オーディオ装置》タブをクリックします。



《デフォルトの入力》、《プロパティ》、《デフォルトの出力》、《システム出力》を《USB Audio CODEC》に設定してください。また《オーディオ入力》の《フォーマット》と、ご使用になるオーディオアプリケーションにおけるサンプリング周波数設定およびチャンネル数が同じになるように設定してください。

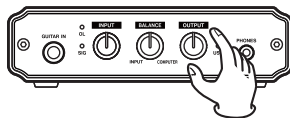
3. 入力レベルの調節は、本機のフロントパネルにある入力レベル調節つまみ（INPUTつまみ）を使って行います。オーバーロードインジケーター（OL）が点灯しないよう調節してください。

オーバーロードインジケーター

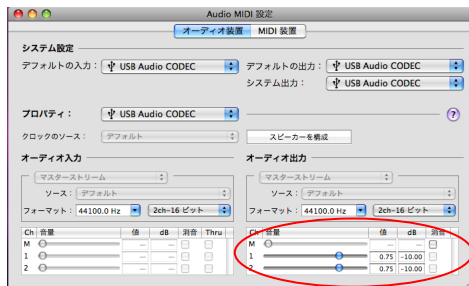


4. 出力レベルの調節は、本機のフロントパネルにある、モニターバランス調節つまみ（BALANCEつまみ）、出力レベル調節つまみ（OUTPUTつまみ）、およびパソコンの《Audio MIDI設定》で行います。

ライン出力端子（OUTPUT端子）およびヘッドホン端子（PHONES端子）からの出力レベルを調節します。

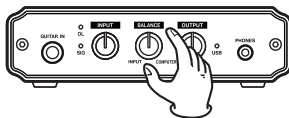


《音量》でレベルを最大にします。《消音》には、チェックを入れないでください。



設定が終わったら画面を閉じます。

5. 本機への入力信号と、パソコンからの信号の音量バランスの調節は、モニターバランス調節つまみで行います。



オーディオアプリケーションの設定について

お使いのオーディオアプリケーションの設定については、各オーディオアプリケーションのメーカーにお問い合わせください。

第5章 トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても、本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。

本章で解決できない場合は、タスクカスタマーサポートまでお問い合わせください。その際、下記のご使用環境と、詳しい状況をお知らせいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

ご使用環境

- PCメーカー：
- モデル：
- CPU：
- 搭載メモリ：
- OS：
- 使用アプリケーション：
- ウィルス対策ソフトの有無：
- 無線LANの有無：

● 音切れやノイズが発生する。



パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生することがあります。パソコンの負荷を軽減させる方法を、以下にご紹介いたします。

- 1) 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。
無線LANの通信を停止、アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止してご使用ください。
- 2) お使いのオーディオアプリケーションにてバッファサイズを大きく設定することをお試しください。
- 3) 以下のようにパソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

Windows XP

1. 《マイコンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
2. 《詳細設定》タブをクリックします。
3. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
4. 《パフォーマンスオプション》画面で、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

Windows Vista

- a) 《Aero》(エアロ)を《OFF》に設定
1. デスクトップを右クリックし、《個人設定》を選択します。

2. 《ウィンドウの色とデザイン》をクリックし、ウィンドウ下の《詳細な色のオプションを設定するには、クラシックスタイルの [デザイン] プロパティを開きます》をクリックします。
 3. 《配色》に《Windows Vista ベーシック》など《Windows Aero》以外の項目を選択します。
- b) パフォーマンス設定
1. 《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
 2. 《システムの詳細設定》をクリックします。
 3. 《詳細設定》タブをクリックします。
 4. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
 5. 《パフォーマンスオプション》画面の《視覚効果》タブで、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

Mac OS X

1. 《アップルメニュー》より《システム環境設定..》画面を開き、《省エネルギー》を選択します。
2. 《スリープ》タブをクリックします。
3. 《パソコンがスリープするまでの静止している時間》を《しない》に設定します。
4. 《ディスプレイがスリープするまでのパソコンが静止している時間》を《しない》に設定します。
5. 《オプション》タブをクリックします。《プロセッサのパフォーマンス》を《最高》に設定します。

メモ

Mac OS X のバージョン、またはMacintoshコンピュータによっては、この設定が無い場合があります。

- **マイク (MIC端子) やライン入力端子 (INPUT端子) の音が入力できない。**



フロントパネルのギター入力端子 (GUITAR IN端子) にケーブルが接続されていると、他の入力端子からの入力がカットされます。マイクやライン入力の音を入力する場合は、ギター入力端子 (GUITAR IN端子) に何も接続しないでください。

- **OUTPUT端子に接続したスピーカーから音が出ない**



アンプ、またはスピーカーの電源は入っていますか？
ボリュームは上がっていますか？
ヘッドホンが接続されていませんか？

- **Audacityについて**



Audacityにつきましては、フリーソフトウェアであるため、弊社ではサポート対象外となります。
ご使用方法につきましては、CD-ROMに付属のドキュメント、Audacityのヘルプメニュー、または以下のウェブサイトをご参照いただけますようお願い致します。

<http://audacity.sourceforge.net/help/>

第6章 仕様

入出力定格

MIC IN [BALANCED] 端子

● XLRタイプ

コネクター：XLR-3-31 (1：GND、2：HOT、3：COLD)
入カインピーダンス：2.2k Ω 以上
規定入力レベル：-62dBu ~ -23dBu
最大入力レベル：-7dBu

● 標準ジャックタイプ

コネクター：6.3mm (1/4") TRS標準ジャック
(Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND)
入カインピーダンス：2.2k Ω 以上
規定入力レベル：-62dBu ~ -23dBu
最大入力レベル：-7dBu

INPUT [UNBALANCED] 端子

● 入力切替スイッチ・LINE設定時

コネクター：RCAピンジャック
入カインピーダンス：10k Ω
規定入力レベル：-10dBV (INPUTつまみ最小時)
最大入力レベル：+6dBV

● 入力切替スイッチ・PHONO設定時

コネクター：RCAピンジャック
規定入力レベル：-50dBV (INPUTつまみ最小時)
最大入力レベル：-34dBV
入カインピーダンス：47k Ω

GUITAR IN端子

コネクター：6.3mm (1/4") 標準ジャック
入カインピーダンス：1M Ω
最大入力レベル：+3dBV

OUTPUT [UNBALANCED] 端子

コネクター：RCAピンジャック
出カインピーダンス：200 Ω
最大出力レベル：0dBV

PHONES端子

コネクター：3.5mmステレオミニジャック
最大出力：15mW+15mW以上 (32 Ω 負荷、歪率0.1%以下)

USB端子

コネクター：USB Bタイプ 4ピン
フォーマット：USB 2.0 HIGH SPEED (480MHz)
USB 2.0 FULL SPEED (12MHz USB 1.1相当)

オーディオ性能

周波数特性 (MIC → OUTPUT)

20Hz ~ 20kHz、+1/-2dB

ノイズレベル (MIC → OUTPUT、ダイレクトモニター時)

-90dBV

(入力：150 Ω 終端、INPUTつまみ最小時、BALANCEつまみ
INPUT時、OUTPUTつまみ最大より-10dB、A-weighted)

歪率 (MIC → OUTPUT、ダイレクトモニター時)

0.1%以下

(INPUTつまみ最小時、1kHz、-7dBu入力、OUTPUTつまみ最大より-10dB)

動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) をご確認ください。

対応OS

Windows : Windows XP 32ビット / 64ビット
Windows Vista 32ビット / 64ビット

Mac OS X : MacOS X 10.3.9以上

ドライバー

Windows : WDM (Windows標準ドライバー)
Mac OS X : CoreAudio (Macintosh標準ドライバー)

一般

サンプリング周波数 : 44.1/48kHz

量子化ビット数 : 16ビット

電源 : パソコンよりUSB経由で供給

消費電力 : 1W

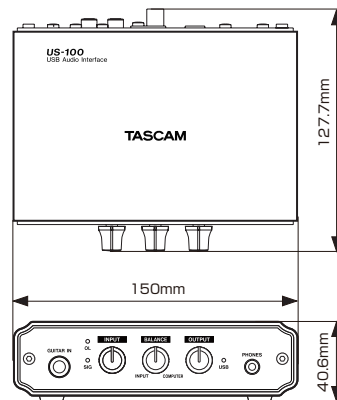
外形寸法 : 150 x 40.6 x 127.7mm (幅 x 高さ x 奥行き)

質量 : 530g

動作温度 : 5 ~ 35℃

バンドルソフトウェア : Audacity (Windows、Mac OS X 用)

寸法図



- * 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- * 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00/13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-8



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。

このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530

東京都多摩市落合 1-47

<http://www.tascam.jp/>